



にじいろレター

No.5

特集：「がん性疼痛看護」

担当：1階東病棟 がん性疼痛看護認定看護師 山下智子

今回は、がん看護に関わる皆様に、「がん性疼痛看護認定看護師」の役割や、がん性疼痛緩和のための薬剤（今回は鎮痛補助薬）についてご紹介します。

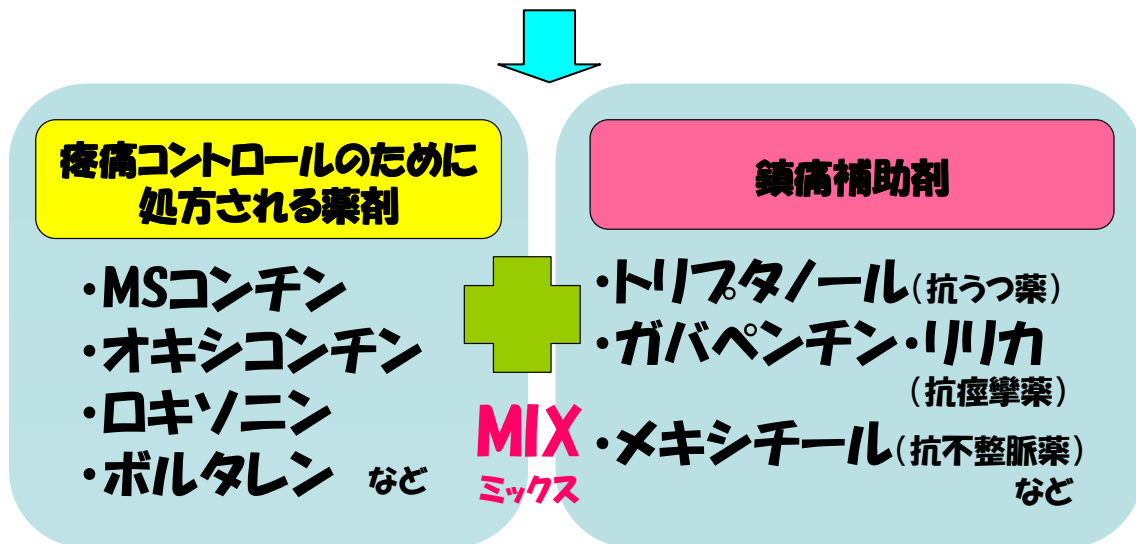
Q：がん性疼痛看護認定看護師とは・・・

- がん性疼痛の全人的ペインアセスメントと症状マネジメント
- 薬物療法の適切な使用と管理及びその効果と評価

などの「実践・指導・相談」をおこなう看護師です。

例えば・・・がん性疼痛に対する医療用麻薬の導入や増量
がん性疼痛に対する非薬物療法看護 など

Q：がん性疼痛に対して、よく使用する鎮痛補助剤は??



鎮痛補助剤の役割は？

患者の症状に応じて、上手く組み合わせると

- ・モルヒネやロキソニンなどでは取れないような「べっといはいついたような嫌な感じの痛み」「ビリビリする痛み」などに効果がある
- ・夜間の睡眠の確保ができる

鎮痛補助剤は、効果が得られるまでに3～7日程度の時間を要します。





がん性疼痛看護に関するご相談をお受けします

皆さん「この患者さん、もう少し痛みが無ければADLが改善され、QOLの向上や自分の好きな事が出来るのに…」または、「もう少しがん看護について知りたい」ということはありませんか？その様な悩みや疑問を、事例を通して一緒に考えてみませんか？

また、下記のようなご相談もお受けしています！！

- がん性疼痛のコントロールがうまくいっていない
- 鎮痛補助剤について知りたい
- バットニュース後の患者さんの支え方が知りたい
- 予後についての質問への対応が難しい
- 呼吸困難・悪心などへの症状緩和の看護について知りたい
- その他、がん看護全般に関すること



コンサルテーションのご案内



方法：病棟カンファレンスや勉強会等に参加させていただきます。

日程：1月17日（月）・2月7日（月）、認定看護師等実践活動グループ会の時間

時間：13：30～14：30 の間の約30分

事前にFCで山下智子に御連絡ください。同性同名がいますのでプロフィールをご確認下さい。

内容の確認や訪問の調整をさせていただきます。

＜訂正とお詫び＞

にじいろレターNo4で、今年度新しく認定された認定看護師を紹介させていただきましたが、所属や氏名が抜けていました。改めてご紹介します。



看護部・感染対策師長
感染管理認定看護師
福田真弓
Fukuda mayumi



外来・副看護師長
がん化学療法看護認定看護師
三輪真砂子
Miwa masako



1階東病棟・看護師
がん性疼痛看護認定看護師
山下智子
Yamashita tomoko